

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2013-252422(P2013-252422A)

【公開日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2013-90597(P2013-90597)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月13日(2016.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電源遮断時に遊技機の状態を記憶保持する記憶保持手段と、  
 電源投入時に前記記憶保持手段に記憶された遊技機の状態に復帰する状態復帰手段と、  
 遊技機の異常を検出する異常検出手段と、  
 該異常検出手段による異常の検出に基づいて、異常の有無を判定する異常判定手段と、  
 該異常判定手段により異常との判断がなされることを条件に、発生した異常の継続期間  
 を計測するカウント手段と、  
 該カウント手段の値が所定値に達することを条件に、異常報知信号を出力する信号出力  
 手段と、  
 該信号出力手段による異常報知信号の出力を条件に、前記カウント手段の値を維持しな  
 がら出力済みフラグを設定する異常設定手段と、  
 前記異常判定手段により正常と判定されることを条件に、前記カウント手段の値及び前  
 記出力済みフラグをクリアする異常クリア手段と、を備え、  
 前記信号出力手段は、既に前記出力済みフラグが設定されていると、前記異常報知信号  
 を出力しないように構成され、  
 電源遮断時に前記記憶保持手段により遊技機の状態を記憶保持するとき、前記カウント  
 手段の値は記憶保持するものの、前記出力済みフラグは記憶保持しない  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 記載の弾球遊技機は、  
 電源遮断時に遊技機の状態を記憶保持する記憶保持手段と、  
 電源投入時に前記記憶保持手段に記憶された遊技機の状態に復帰する状態復帰手段と、  
 遊技機の異常を検出する異常検出手段と、

該異常検出手段による異常の検出に基づいて、異常の有無を判定する異常判定手段と、  
該異常判定手段により異常との判断がなされることを条件に、発生した異常の継続期間  
を計測するカウント手段と、

該カウント手段の値が所定値に達することを条件に、異常報知信号を出力する信号出力  
手段と、

該信号出力手段による異常報知信号の出力を条件に、前記カウント手段の値を維持しな  
がら出力済みフラグを設定する異常設定手段と、

前記異常判定手段により正常と判定されることを条件に、前記カウント手段の値及び前  
記出力済みフラグをクリアする異常クリア手段と、を備え、

前記信号出力手段は、既に前記出力済みフラグが設定されていると、前記異常報知信号  
を出力しないように構成され、

電源遮断時に前記記憶保持手段により遊技機の状態を記憶保持するとき、前記カウント  
手段の値は記憶保持するものの、前記出力済みフラグは記憶保持しない

ことを特徴とする遊技機である。